

学年「題材名」	第3学年「ハ長調の音階を使ってまとまりのある旋律をつくろう」
題材のねらい	音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解し、創意工夫を生かした表現で旋律をつくるために必要な、課題や条件に沿った音の選択や組合せなどの技能を身に付ける。
本時のねらい	ハ長調の音階を使って和音の動きに合わせて旋律をつくってみよう。(1/5時間)

【授業場面…音楽制作アプリで旋律を作成する。

…音楽制作アプリに保存している伴奏を流しながら創作した旋律を聴き合う。】

教師の働きかけ ・ 発問等	生徒の活動 ・ 発言 ○活動
1 カノン進行でつくられた曲を聴いて、同じ和音の動きでもいろいろな旋律が付けられ、曲の雰囲気の違いが生まれることを確認する。	○聴いた曲が全て同じ和音の動きからできていることを知る。
2 教科書の和音と低音を聴き、和音の響きの移り変わりを感じ取り、和音の構成音を確認する。	○和音と低音を聴き、和音の響きの移り変わりを感じる。
3 教科書を参考に、和音の構成音から音を選び、旋律をつくることを確認する。 ※事前に和音パートや2種類の伴奏を保存し、生徒のタブレットで共有できるようにしておく。	○ワークシートに示されている「和音に含まれている音」の中から選んだ音を【音楽制作】の鍵盤で音を出しながら、音のつながり方を工夫して選択していく。 ○2種類の伴奏(4ビート、サンバ風)から選び、創作した旋律を伴奏の雰囲気に合うように工夫する。

4 創作した旋律が和音の移り変わりの美しさを生かしているか、伴奏の雰囲気合っているかペアで聴き合い、作品について意見交換させる。



5 ペアの意見をもとに、再度、音のつながりを工夫して作品を仕上げ、タブレットに保存させる。

○【音楽制作アプリ】に保存してある伴奏を流しながら、創作した旋律を流して聴き合い、意見を交換する。

- ・同じ音が続いていても、和音が変わると響きが変わっておもしろかった。
- ・音の動きが少なくて単調な感じになったので、他の音も使ってみようかな。

○ペアでの意見をもとに、創作した旋律を再生したり、再生した音と一緒に歌ったりしながら、再度音のつながり方を工夫して作品を仕上げる。

- ・Aくんの作品は最後の方に音が高くなっていき、盛り上がっているように感じた。
- ・Bくんの作品は8分音符が多くて、サンバの踊りたくなる感じが出ていた。

○提出された旋律を確認し、学習評価に生かす。

○完成した旋律を保存し、教師に提出する。

